

食品産業SDGs推進 キックオフセミナー

持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みは、食品産業においても大切な課題です。このセミナーでは農林水産資源の“有効利用”や“副産物の活用”に注目し、SDGsへの取り組みに向けた情報をお届けします。

日時 令和5年**3月17日(金)**
13:30～16:00

会場 米子コンベンションセンター BiG SHiP
5 F 第6会議室（鳥取県米子市末広町294）
およびオンライン（Zoomによるハイブリッド開催）

基調講演

13:35

第9回 食品産業もったいない大賞（2022年）
農林水産省大臣官房長賞 受賞

「粕を活かして健康寿命延伸を！
～さまざまな食品工場副産物から
創り出す機能性食品素材～」



株式会社ニップ
中央研究所
イノベーションセンター
間 和彦 氏

<参加費無料>

話題提供

① 14:45

「フードテックを活用したフードロスの削減と
食品の高付加価値化に向けた取り組み」

鳥取県産業技術センター 食品開発研究所
所長 有福 一郎

② 15:05

「カニ殻放線菌の遺伝情報と特性を
利用した未利用資源キチンの活用」

鳥取大学 研究推進機構
未利用生物資源活用研究センター
副センター長 農学部教授 有馬 二郎 氏

③ 15:35

「食品廃棄物に関する取組みについて」

公立鳥取環境大学 環境学部
准教授 門木 秀幸 氏

参加申込（申込期限：令和5年3月15日（水））

センターHPの申込フォーム、参加申込書（メールまたはFAX）により、
お申し込みください。（URL：<https://tiit.or.jp/3202/5450/230317/>）



お問合せ：地方独立行政法人鳥取県産業技術センター
食品開発研究所 担当：内川、山川

TEL：0859-44-6121 FAX：0859-44-0397 E-mail：tiit-shokuhin@tiit.or.jp

主催：地方独立行政法人鳥取県産業技術センター **後援：**鳥取県食品産業協議会
協力：鳥取大学研究推進機構未利用生物資源活用研究センター 公立鳥取環境大学
食品開発と健康に関する研究会

セミナー概要

＜基調講演＞「第9回食品産業もったいない大賞」農林水産省大臣官房長賞 受賞

粕を活かして健康寿命延伸を！ ～さまざまな食品工場副産物から創り出す機能性食品素材～

間 和彦 氏（株式会社ニッポン 中央研究所 イノベーションセンター）

食品工場から発生する副産物や粕のリサイクルフローを構築し食品ロスに貢献するとともに、副産物から抽出された成分が持つ健康機能性を証明し、セラミド、オリーブ果実マスリン酸、パミスエキス、アマニリグナン、ブランエースなど付加価値のある健康機能性素材として数多く製品化しました。

＜話題提供①＞ フードテックを活用したフードロスの削減と食品の高付加価値化に向けた取り組み

有福 一郎（鳥取県産業技術センター食品開発研究所）

基盤産業の一つである食品産業の「再生」と「持続的発展」は、重要なテーマであり、令和5年4月からスタートする第5期では重点的に取り組む分野としています。食品開発研究所が、新たに取り組む研究開発や企業の皆様に活用していただきたい支援事業について紹介します。

＜話題提供②＞ カニ殻放線菌の遺伝情報と特性を利用した未利用資源キチンの活用

有馬 二郎 氏（鳥取大学 研究推進機構 未利用生物資源活用研究センター）

カニ殻を土壌にすきこむと、そこでの作物生産に効果を示します。この農法から着想を得て、カニ殻を分解する放線菌を獲得しました。本発表では、カニ殻分解放線菌が持つ未利用資源キチンの有効活用への可能性を紹介します。

＜話題提供③＞ 食品廃棄物に関する取組みについて

門木 秀幸 氏（公立鳥取環境大学環境学部）

食品ロスの削減と食品廃棄物の再生利用の推進は、環境問題だけでなく貧困等社会的問題にもかかわる重要課題となっています。当研究室でこれまで取り組んできたおからの再生利用、生ごみの再生利用に関する研究成果とともに、今後の新たな取組みの方向について紹介します。

参加申込書

企業名等		
住所	〒 鳥取県	
電話番号	() -	
参加方法 (どちらかに○)	会場 ・ オンライン	
参加者	部署・(役職)・お名前	
	Eメール (オンラインの方は必須)	

* お申し込み後2日（土日祝日を除く）までに当方からの確認メールまたはFAXが届かない場合は、お手数ですがご連絡下さい。

【個人情報の利用について】

ご記入頂きました個人情報は、今後の研究会等の情報提供その他の正当な目的にのみ使用させていただきます。

＝申し込み先＝

FAX : 0859-44-0397

Eメール : tiit-shokuhin@tiit.or.jp (担当: 内川、山川)

＝申し込み期限＝

令和5年3月15日(水)